

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は従来農村地帯であったが、北部にＪＲ佐倉駅、南部に国道５１号線と交通の便や地理的条件に恵まれて、昭和３５年を機とした高度経済成長の波にのった開発がおこなわれ、その一部が工業地域に指定されて昭和４０年頃から大小の工場が次々に進出してきた。また、昭和４７年に東関東自動車道が開通し、一層都市化に拍車をかけた。以前の山林、田畑はつぎつぎと宅地造成され、新しい家々が建ち並ぶ住宅地になり、新しい住民が多くなってきた。

地域全体をみた場合、農村地域と住宅地域、さらにはＪＲ佐倉駅周辺、あるいは県道沿いの商店、工業団地といった地域構成となっている。根郷地区の面積は市全体の１６．９％に当る１７．４６㎢、人口は１４．２％に当る２５，０７５人であるが、今後も人口の増加が見込まれている。近年の宅地開発等によって、藤治台・大作・大崎台・山王・春路・表町等の新しい大字地名が加わり、新しい麓の列なる美しい町並が広がっている。しかし、南部地域を中心に自然豊かな山野・田畑も多く残されている。また、学校は根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校、千葉敬愛大学があり、学園地区としても注目されている。

根郷地区の概要

- 地区面積 １７．４６㎢
（市面積１０３．６㎢）
- 地区人口 ２５，０７５人
（市住民基本台帳人口
１７６，０７２人）
- 人口密度 １，４３６人／㎢
（市人口密度１，７００人／㎢）
平成２４年３月末現在

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として根郷地区の実態をふまえ、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるようにつとめる。

努力目標

- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応につとめる。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に答える多様な事業を展開する。
- 地域の人材の力を地域に還元する橋渡し役となるようにつとめる。
- 郷土意識の高揚、社会問題への関心の喚起につとめる。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

①提供月日（曜日）

月・火・日曜日（第2・4月曜日は休館） 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～21：00

※使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

②休館日 毎月 第2・4月曜日、年末年始

(2) 備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

2. 学級・講座・講習会・見学会

参加者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育の各事業にわけて実施する。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

2. 公民館利用状況

月別利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用件数	293	280	303	299	281	281	330	294	262	269	297	274	3,463
利用人数	2,774	2,746	3,264	3,152	2,571	2,695	3,792	3,158	2,782	2,919	3,164	2,998	36,015
開館日数	28	29	28	29	29	28	29	28	25	25	27	29	334
使用料金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分別利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
主催 事業	件数	13	29	28	30	45	19	64	33	38	15	16	19	349
	人数	211	458	414	420	255	206	1,087	478	433	237	333	352	4,884
団体 利用	件数	274	250	273	265	224	259	261	259	221	251	280	255	3,072
	人数	2,533	2,278	2,747	2,643	2,166	2,478	2,595	2,644	2,278	2,622	2,816	2,646	30,446
教育 機関	件数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
	人数	0	0	103	0	0	0	0	0	0	40	0	0	143
行政 機関	件数	6	1	0	4	12	3	5	2	3	1	1	0	38
	人数	30	10	0	89	150	11	110	36	71	20	15	0	542

年度別利用状況

年度 区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用件数	3,320	3,285	3,219	3,324	3,463
利用人数	36,299	35,500	34,037	35,951	36,015
開館日数	334	333	333	334	334

事業の部

領域	事業名	内 容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	ぽっぽちゃんくらぶ	親子で一緒に運動や絵本、手遊びなどを楽しみ、子供の様々な発達を図るとともに、子育ての不安解消、親子の関係を見直す機会とした。また、家族の参加日を各コース2回設け、親同士の交流も図った。	2歳児と保護者 20組 (20組×2コース)	前期： 5月～7月 後期： 10月～12月 各コース12回
	親子ふれあい体操	乳幼児が体を動かすことで体などの発達の促進を図った。遊びを通して家族の係わり方を学び、同じ子を持つ親の仲間づくりや、情報交換の場として実施した。	幼児と保護者 30人	7月21日 1回
	家庭教育共通事業(食の大切さ)	正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学んだ。	小学生以上の保護者 11人	2月8日 1回
青少年教育	親子交流	佐倉の特産品を利用した、調理体験を通し、親子交流を図った。	小学生と保護者 延べ 48人	8月18日 1月21日 2回
	通学合宿	異年齢の子ども達が親元を離れ、共同生活をする事により、自主性・協調性などを高めた。また、地域住民との交流も図った。	小学生 4～6年 19人	10月23～ 26日 (3泊4日)
	体験学習・ものづくり	体験型事業として、おもしろ科学実験隊、わくわくキッズなどを開催し、子供のやる気や自主性・協調性などを養った。	小学生 延べ155人	6月～12月 13回
	映画鑑賞会	映像教材をとおして子供たちの健全育成を図った。	幼児～小学生 延べ101人	7月31日 3月29日 2回
	地域子ども会協働事業	子どもたちが健康で知性・感性を備えた心豊かな人に育ってもらうために地域の子ども会と公民館の協働による子ども育成を行った。	幼児～小学生 延べ57人	クリスマス会 12月18日 クリスマスコンサート 12月23日 1回
	佐倉っ子塾 共通講座 I (環境講座)	環境意識を育む講座(印旛沼などの自然環境やその他自然体験学習をし、環境への意識を育んだ。)	小学生 延べ24人	7月26日 9月24日 2回

	佐倉っ子塾 共通講座Ⅱ (創造力養成講座)	創造力を育む講座(地域の産業や文化など、体験含めて学習し、子どもの創造力や研究心を育む。) 株式会社フジクラ佐倉事業所の工場見学を実施した。	小学生 21人	7月26日 1回
成人教育	健康づくりの講座	日常生活の中で簡単に出来る運動を中心に学び、健康の保持増進を図った。	成人延べ 120人	10月5日 10月12日 10月19日 10月26日 4回
	人権講座	「古今佐倉真佐子にみる人々の暮らし」江戸時代の佐倉を記録した書物から、当時のまちの様子や人々の暮らしから当時の仕事を読み取った。	成人 32人	3月15日 1回
	パソコン講座	初心者を対象とした各種パソコン講座を実施し、地域住民の情報活用能力の育成を行った。	成人 延べ89人	6月～3月 8回
	パソコン自由利用	ボランティアを配置し、パソコン初心者が自由にパソコンに触れる場を提供した。	成人 96人	4月～3月 12回
	地域づくり入門講座	消防署の協力を仰ぎ、地域住民の常日頃からの防災意識を向上させる機会として、普通救命講習会を実施した。	成人 20人	3月11日 1回
佐倉学	体験・ものづくり講座	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得ながら、こんにやく芋などの地域の伝統的な素材を生かした料理講座を実施した。また、講座を通して地域住民の交流を図った。	成人 17人	12月9日 1回
	根郷探訪	郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び郷土愛を高め、地域を見直す機会とした。	成人 24人	4月16日 1回
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	佐倉をテーマに学び、郷土を知ってもらった。(郷土の資料を使用しながら、時代の変遷を分かりやすく学んだ。)	成人 延べ41人	7月16日 12月10日 2回
高齢者教育	寿大学	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図った。	60歳以上 延べ 987人	5月～3月 (8月を除く) 10回

団体育成	根郷地区社会教育関係団体への援助	南部地区子ども会育成会連絡協議会や、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援した。	該当団体	通年
	定期利用者懇談会	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見、要望を聞いた。また、グループ活動の意義の理解を図った。	利用団体 61 団体	4 月 20 日 5 月 1 日 2 回
人材育成	学生ボランティア育成	地区内の中・高・大学生に主催事業への協力を呼びかけ、若年層にも地域の輪を広げた。	中・高・大学生	随時
	講師の公募	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざして、次年度の講師を一般公募した。	成人	随時
	ボランティアの育成	主催事業（郷土史・パソコン指導など）や施設の環境美化に協力してくれるボランティアを育成及び活用し、活動を行った。	成人	通年
広報活動	根郷公民館だより	公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。	根郷地区各世帯・各事業所	4 月 15 日 9 月 15 日 10,900 部× 2 回
図書事業	図書の貸出・返却	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。	幼児～成人	通年 1 人 10 冊 2 週間 まで
その他	夏休み自習室	夏休みの期間中、学生等が個人学習に利用できる部屋を開放した。	小学生～成人 延べ29人	7月21日～ 8月31日 40日間
	卓球室開放	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供した。	幼児～成人 延べ89人	4月～3月 第1日曜日 12回

1. 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

○開設趣旨 幼児の想像力や豊かな心を育てるうえで重要な役割を果たす絵本。絵本の読み聞かせの手法や絵本の楽しさを学ぶ。工作や遊びなどを通して、親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かすことの楽しさや同年齢の友達とふれあうことで、幼児期の人格形成を促すことを目的とする。また、地域にかえっても話し合えるような参加者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考える。

○対象・人数

前期 平成20年4月2日～20年9月30日生まれの子と保護者20組40人・15組32人

後期 平成20年10月1日～21年4月1日生まれの子と保護者20組40人・7組14人

○期間・回数

前期 平成23年 5月12日(木)～ 7月14日(木)・12回

後期 平成23年10月 6日(木)～12月 8日(木)・12回

午前10時から11時30分まで

○学習目的

1. 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。
2. 運動や遊びを通して、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

○指導者

前期 おはなし会メープル (えほん)、
ニッポンランナーズ 伊藤友香 氏、結城玲美 氏 (体操)

後期 おはなし会メープル (えほん)、
ニッポンランナーズ 伊藤友香 氏 (体操)

○保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 7人

○プログラム

(前期)

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	5月12日(木)	お花が咲いた!	絵本の読み聞かせをし、折り紙でお花を作った。	おはなし会メープル	30人
2	5月19日(木)	みんなでさかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙作った魚で魚釣りをした。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会メープル	26人
3	5月26日(木)	手型をとろう	絵本の読み聞かせをし、手型とって、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会メープル	31人
4	5月29日(日)	家族といっしょに	絵本の読み聞かせをし、トレット [®] パーの芯でロケット作り、飛ばした。	おはなし会メープル	32人
5	6月2日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会メープル	26人

6	6月9日(木)	むくむくお化けで遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会 メープル	26人
7	6月16日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで遊んだ。	伊藤友香氏 結城玲美氏	31人
8	6月19日(日)	新聞紙を使って	新聞紙を使っていろいろな遊んだ。	伊藤友香氏 結城玲美氏	26人
9	6月23日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操した。	伊藤友香氏 結城玲美氏	24人
10	6月30日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操した。	伊藤友香氏 結城玲美氏	26人
11	7月7日(木)	器具を使って	マット、平均台などにチャレンジした。	伊藤友香氏 結城玲美氏	25人
12	7月14日(木)	みんなで よーいドン	みんなでミニ運動会をした。	伊藤友香氏 結城玲美氏	29人

(後期)

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	10月6日(木)	お花が咲いた!	絵本の読み聞かせをし、折り紙でお花を作った。	おはなし会 メープル	14人
2	10月13日(木)	みんなで さかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会 メープル	4人
3	10月16日(日)	家族といっしょに	絵本の読み聞かせをし、トレットペーパーの芯でロケット作り、飛ばした。	おはなし会 メープル	10人
4	10月20日(木)	手型をとろう!	絵本の読み聞かせをし、手型をとって、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会 メープル	9人
5	10月27日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会 メープル	15人
6	11月2日(水)	むくむくお化けで遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会 メープル	6人
7	11月10日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで遊んだ。	伊藤友香氏	10人
8	11月17日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操した。	伊藤友香氏	10人

9	11月24日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操した。	伊藤友香氏	14人
10	11月30日(水)	器具を使って	マット、平均台などにチャレンジした。	伊藤友香氏	12人
11	12月4日(日)	新聞紙を使って	新聞紙を使っていろいろな遊びをした。	伊藤友香氏	6人
12	12月8日(木)	みんなで よーいドン	みんなでミニ運動会をした。	伊藤友香氏	14人

○講座を終えて

絵本と体操というテーマの違うものの組み合わせ。子どもの性格により、興味の違いがみられるが、情操教育と、からだの発達を考えた講座。日曜日の家族参加の日は、父親、祖父母、参加児童の兄弟などで多くの参加となり、遊びの幅も広がり、皆とても伸び伸びしていた。

この講座を一つの契機として、2歳児という幼児期を、親としてどう子育てすべきか、楽しさや悩みも話しあいながら、同じ子どもを持つ保護者や子どもたち同士の交流を通じて、今後の家庭教育に生かして欲しいと思う。

親子ふれあい体操

○開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。

○対象・人数 幼児と保護者・30組

○期間・回数 平成23年7月21日(木)・1回

○学習目的 親子のふれあいと友達づくり

○指導者 親子ふれあい体操と友達作りの会 佐藤由利子氏

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	7月21日(木) 10:00~11:30	親子のふれあい 体操と友達づくり	親子で体操をしながら、親子、友達との交流を図った。	佐藤由利子氏	11組30人

○講座を終えて

親子で体操を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな同年齢の幼児とその保護者同士の交流を深める機会となった。また、工作は「アンパンマンのうちわ」を作り親子で楽しみました。

親子体験教室

○開設趣旨 ザリガニ釣りや調理など体験活動を通じて、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。

また、自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、参加者同士や地域の方などとのつながりを深める機会とする。

○対象・人数 親子・12組24人

○期間・回数 平成23年5月15日(日)~11月6日(日)・6回

- 学習目的 1. 親子のコミュニケーションを深める。
2. 自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、参加者同士や地域の方などとのつながりを深める。

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学習テーマ	学 習 内 容	参加人数
1	5月15日(日)	調理・計画等	ホットケーキを作り、お茶を飲み、和やかな雰囲気の中で、これからの活動の計画を立てた。	12組 26人
2	6月12日(日)	ザリガニ釣り	青空の下、親子でザリガニ釣りに熱中した。	10組 22人
3	7月10日(日)	親子でスポーツ	ユニカールやドッチボールなどを行い、親子や班で、コミュニケーションを深めることができた。	9組 20人
4	9月25日(日)	親子で クッキング	親子でサンドイッチを作り、おいしく食べた。	12組 26人
5	10月16日(日)	竹馬づくり	親子で竹馬づくりに挑戦した。	10組 21人
6	11月6日(日)	みんなの リクエスト	親子で、卓球に挑戦した。また、段ボールを使って色々な物を作った。	9組 16人

○講座を終えて

親子で体験活動をしなが、普段以上に会話が弾み、全体として、和やかな講座となった。また、親子や参加者同士とのコミュニケーションも図れたので、今後も継続して、交流を深めていってもらいたい。

家庭教育共通事業「食の大切さ」

○開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学ぶ。

○対象・人数 小学生を持つ保護者・20人

○期間・回数 平成24年2月8日(水)・1回

○学習目的 正しい「食」の知識について学ぶ。

○指導者 栄養士 六崎美知代 氏

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学習テーマ	学 習 内 容	指導者	参加人数
1	2月8日(水) 10:00~11:30	朝食の重要性について考える	朝食の重要性について学んだ。また、手作りで簡単にでき、栄養のバランスも良い献立についても学んだ。	栄養士 六崎美知代 氏	11人

○講座を終えて

朝食をはじめとした成長期における子どもの食生活の大切さを学んだ。食事を栄養面、健康面だけでとらえずに、調理や食事を親子で一緒に行うことにより、コミュニケーションを深められる機会となることを学んだ。

2. 青少年教育事業

親子交流

- 開設趣旨 調理体験を通して、親子の交流を図る。
- 対象・人数 小学生と保護者・1回目 8組16人、2回目 20組40人
- 期間・回数 平成23年8月18日(木)、平成24年1月21日(土)・2回
- 学習目的 食について正しい知識を養う。
- 指導者 8月18日 フードコーディネーター 加藤富美子氏
1月21日 「根郷そば道場」会員(公民館利用サークル)
- プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	8月18日(木) 9:30~13:00	佐倉の特産品を使って、夏ランチを作る	佐倉で採れた夏野菜を使って荷葉餅(フ-イピン)などを作った。	フードコーディネーター 加藤富美子氏	16人
2	1月21日(土) 9:30~16:00	親子でそば打ちに挑戦	親子でそば打ち体験を実施した。	「根郷そば道場」会員 (公民館利用サークル)	32人

○講座を終えて

佐倉で採れた夏野菜を使って、荷葉餅やトマトと卵のスープなどを作りました。新鮮な佐倉の野菜を使った、栄養バランスの良いメニューは、保護者にも好評でした。家庭においても食事作りを通して親子のコミュニケーションが深められればと思います。

そば打ちについては、昨年引き続き、公民館利用団体の「根郷そば道場」会員が、指導にあたってくださいました。参加者からは、「そば打ちを通して、子どもたちが職人の技に触れる良い機会にもなった」との感想もあった。機会をとらえて郷土料理なども取り入れていきたいと思っています。

通学合宿

- 開設趣旨 異年齢の子どもたちが、親元を離れ、共同生活体験をしながら通学する
- 対象・人数 根郷地区の小学4年生~6年生・21人
- 期間・回数 平成23年10月23日(日)~10月26日(水)の3泊4日・1回
- 学習目的 共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める。
- 指導者 小林由喜子氏(献立作成)、地域ボランティア、学生ボランティア
- プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	10月23日(日) 13:00~	共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める	共同生活体験をした。	小林由喜子氏、 地域ボランティア、 学生ボランティア	19人

2	10月24日(月)	共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める	共同生活体験をしなから通学した。	地域ボランティア、学生ボランティア	19人
3	10月25日(火)	共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める	共同生活体験をしなから通学した。	地域ボランティア、学生ボランティア	19人
4	10月26日(水) ～18:30	共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める	共同生活体験をしなから通学した。	地域ボランティア、学生ボランティア	19人

○講座を終えて

今年9年目となる「通学合宿」。学校・地域の中でも定着してきて、かなり協力的である。保護者からの事後アンケートで「家の手伝いをするようになった」「地域の方と挨拶するようになった」というのが、多数あることから、自主性・協調性が高まったものだと思う。

おもしろ科学実験隊

○開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。

○対象・人数 小学4年生～6年生・16人

○期間・回数 平成23年6月4日(土)～12月3日(土)・6回

○学習目的 実験を通して、新しい発見をする。

○指導者 西澤保雄氏、川上義孝氏、土井仁氏、半沢洋子氏、小林正美氏

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	6月4日(土) 13:00～15:00	酸とアルカリの実験	酸とアルカリを混ぜるとどんな変化が起こるかなどの実験をした。	村上中学校教諭 西澤保雄氏	10人
2	7月2日(土) 13:00～15:00	二酸化炭素って何?	どんなものを燃やすと二酸化炭素が出るかなどの実験をした。	千葉高等学校教諭 川上義孝氏	14人
3	8月6日(土) 13:00～15:00	超低温の世界	温度の変化の実験をした液体窒素について調べた。	元臼井南中学校校長 土井仁氏	12人
4	9月3日(土) 13:00～15:00	液状化現象って何?	「エッキー」を作り、液状化について学んだ。	千葉高等学校教諭 川上義孝氏	13人
5	11月5日(土) 13:00～15:00	鉄は燃える?	「鉄は燃える」事を学んだ。使い捨てカイロを作った。	千葉工業大学准教授 半沢洋子氏	15人
6	12月3日(土) 13:00～15:00	静電気の実験	静電気の実験をした。ストローダーツを作った。電子レンジを使った実験をした。	筑波大学准教授 小林正美氏	15人

○講座を終えて

今年12年目となる「おもしろ科学実験隊」。今年は、東日本大震災が発生したので、液状化現象についてもテーマに取り入れた。どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意してくださり、時間延長も度々あり、大変充実した講座となった。

わくわくキッズ

○開設趣旨 子どもたちが、やる気や自主性・協調性を養う機会とする。

○対象・人数 小学4年生～6年生・10人

○期間・回数 平成23年8月3日（水）～8月7日（日）・4回

○学習目的 1つのテーマについてしっかり調べ、新しい発見をする。

○指導者 千葉高等学校教諭 川上義孝氏、

○プログラム

回	月日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	8月3日（水） 10:00～正午	色って何だ？	なぜ、色が見えるのか実験した。	千葉高等学校教諭 川上義孝氏	7人
2	8月4日（木） 10:00～正午	色って何だ？	分光器を作り、光の色を分ける実験をした。	千葉高等学校教諭 川上義孝氏	7人
3	8月6日（土） 10:00～正午	色って何だ？	色が見える原理について実験をした。	千葉高等学校教諭 川上義孝氏	7人
4	8月7日（日） 10:00～正午	色って何だ？	植物の持つ天然色素について学んだ。	千葉高等学校教諭 川上義孝氏	7人

○講座を終えて

今年2年目となる「わくわくキッズ」。今年のテーマは、「色」。なぜ色が見えるのか？など子供たちにわかりやすく解説していただいた。講座通して、「何でも自分たちで調べる」という自主性・協調性が高まったと思う。

子ども水彩画教室

○開設趣旨 絵を描くことにより、やる気や自主性を育てる。

○対象・人数 小学生・15人

○期間・回数 平成23年8月5日（金）、8月9日（火）・2回

○学習目的 絵を描く楽しさに触れる。

○指導者 ワールサークル 会員（公民館利用サークル）

○プログラム

回	月日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	8月5日（金） 10:00～正午	水彩画教室	絵を描く時の基本 光が当たる所と影の所を観察しながら、デッサンした。	ワールサークル 会員 （公民館利用サークル）	15人

2	8月9日(火) 10:00~正午	水彩画教室	光が当たる所と影の所を観察しながら、着色をした。	ワールサークル 会員 (公民館利用サークル)	14人
---	---------------------	-------	--------------------------	---------------------------	-----

○講座を終えて

子どもたちは、絵を描くことにより、物には、光が当たり明るく見える部分と、光が当たらず、暗く見える部分があることを観察し、どうしたらその表現を画き表しことができるかを学びました。

今年も、根郷公民館で活動をしている団体（ワールサークル）のご協力をしていただきました。この講座が、少しでも子どもたちのやる気や自主性を育てるのに役立てればと思います

勾玉づくり

○開設趣旨 勾玉づくりを通して、やる気や自主性を育てる。

○対象・人数 小学3年生～6年生・20人

○期間・回数 平成23年8月17日(水)・1回

○学習目的 勾玉づくりや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れる。

○指導者 千葉県教育振興財団 四街道分室 土屋潤一郎 氏

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	8月17日(水) 10:00~正午	勾玉づくり	勾玉づくりや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れた。	千葉県教育振興財団 四街道分室 土屋潤一郎 氏	19人

○講座を終えて

子どもたちは、熱心に講師の話聞いた後、夢中で勾玉を作っていた。縄文時代についての質問もたくさん出て、時間延長となるくらいだった。この講座で、少しでも子どもたち昔の生活体験に興味を持ってくればと思う

子ども映画鑑賞会

○開設趣旨 名作映画会として実施し、映画をとおして友達との輪を広げ、青少年の健全育成を実現する。

○対象・人数 幼児～小学生・1回50人

○期間・回数 平成23年7月31日(日)、平成24年3月29日(木)・2回

○学習目的 名作鑑賞を通じて児童の交流と健全育成を図る。

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	参加人数
1	7月31日(日) 10:00~11:30	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・カッパの三平	63人
2	3月29日(木) 10:00~正午	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・ピピとべないホテル ・忍たま乱太郎の自転車安全教室	38人

○講座を終えて

地域の子供たちを対象に夏休みを利用して映画鑑賞会を実施しました。

名作映画を通して、子供たちに思いやりの心を育んでもらえたらと思います。

地域子ども会協働事業

○開設趣旨 子どもたちが知性・感性を備えた心豊かな人に育ってもらうため、地域の子ども会と公民館が協働で、子ども育成を行う。

○対象・人数 幼児～小学生・40人

○期間・回数 平成23年12月18日(日)、12月23日(金)・2回

○学習目的 ゲームや音楽鑑賞を通して、地域の子ども会と公民館が協働で、子ども育成を行う

○指導者 松ヶ丘第一子ども会 役員、佐倉ウィンドアンサンブル 会員

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	12月18日(日) 13:30~16:00	クリスマス会	ゲームを行い、プレゼント用のカードを作成し、交換した。	松ヶ丘第一子ども会 役員	30人
2	12月23日(金) 14:00~15:00	クリスマスコンサート	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマスのひとときを過ごした。	佐倉ウィンドアンサンブル 会員	27人

○講座を終えて

子どもたちは、自分たちで、ゲームの進行を行うことにより、自主性・協調性が高められた。

また、この年代から、生演奏を聴くことにより、感性が磨かれ、楽器についての知識も多く得られたと思う。

2-1 佐倉っ子塾

共通講座 I 「環境講座」

印旛沼と水辺観察

○開設趣旨 子供たちに地域をよく理解してもらうとともに地域の環境も理解し、故郷を大切に思う心を育てる。

○対象・人数 小学生・20人

○期間・回数 平成23年7月26日(火)、9月24日(土)・2回

○学習目的 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む講座とする。

○指導者 7月26日 千葉県環境財団 職員、9月24日 村上中学校教諭 西澤保雄氏

○プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	7月26日(火) 10:00~16:30	水辺観察会	印旛沼に注ぐ水の流れや、生き物について学んだ。	千葉県環境財団 職員	12人
2	9月24日(土) 13:00~15:00	水を調べてみよう	水を浄化する実験を行った。	村上中学校教諭 西澤保雄氏	12人

○講座を終えて

郷土の印旛沼や環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座。

印旛沼を取り上げ、水源域に生息する水生生物について、現地で観察した。また、各流域の水質を比較することで、印旛沼の抱えている問題点などについても理解してもらえたと思う。

共通講座 II 「創造力養成講座」

夏休み工場見学

○開設趣旨 地域の産業や文化などについての体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。

○対象・人数 小学3年生～6年生と保護者・20組40人

○期間・回数 平成23年7月26日（火）・1回

○学習目的 光ファイバーケーブルの製造工程や製品がどのような分野で利用されているかを学ぶ。

○指導者 株式会社フジクラ佐倉事業所 社員

○プログラム

回	月日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	7月26日（火） 13:30～15:00	光ファイバーケーブルについて	ファイバーケーブルの製造工程や製品がどのような分野で利用されているかを学んだ。	株式会社フジクラ 佐倉事業所 社員	14組32人

○講座を終えて

普段使っている電化製品に、光ファイバーがどのように使われているかを知ることができ、有意義な講座となった。また、地元企業が社会に役立つ製品を製造していることを知り、働くことの意義についても実感できたことと思う。

3. 成人教育事業

健康づくり講座

○開設趣旨 日常生活の中で簡単にできる運動を学び、健康の維持・増進を図る。

○対象・人数 成人・40人

○期間・回数 平成23年10月5日（水）～10月26日（水）・4回

○学習目的 運動を通して健康の保持・増進について学ぶ。

○指導者 A F A A認定インストラクター 森たか子 氏

○プログラム

回数	月日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	10月5日（水） 10:00～11:30	今から始める健康運動	有酸素運動やストレッチを中心に学んだ。	A F A A認定インストラクター 森たか子 氏	35人

2	10月5日（水） 10:00～11:30	今から始める 健康運動	有酸素運動やストレッチを 中心に学んだ。	A F A A 認定インスト ラクター 森たか子 氏	30人
3	10月5日（水） 10:00～11:30	今から始める 健康運動	有酸素運動やストレッチを 中心に学んだ。	A F A A 認定インスト ラクター 森たか子 氏	28人
4	10月5日（水） 10:00～11:30	今から始め る健康運動	有酸素運動やストレッチ を中心に学んだ。	A F A A 認定インス トラクター 森たか子 氏	27人

○講座を終えて

A F A A 認定インストラクター 森たか子 氏を講師に迎え、日常生活の中で簡単に出来る運動、特に有酸素運動やストレッチを中心に学びました。参加者からは「健康のため今後も運動を続けていきたい」など、健康に関する関心の強さを感じました。今後もニーズに合わせた講座を開催したいと思う。

人権講座

○開設趣旨 現代社会に潜在する様々な人権問題を考える。

○対象・人数 成人・30人

○期間・回数 平成24年3月15日(木)・1回

○学習目的 現代社会に潜在する様々な人権問題を考える。

○指導者 健康こども部部长 石井肇

○プログラム

回数	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	3月8日(木) 10:00～11:30	古今佐倉真佐子にみ る人々の暮らし	古今佐倉真佐子を通 して当時の人々の暮 らしや身分制社会の 人権について学んだ。	健康こども部部长 石井肇	32人

○講座を終えて

当時の身分制社会について詳しく知ることができ、参加者からは、「このような講座を続けてほしい」「人権についてもっと学習したい」など活発な意見が出された。

パソコン講座

○開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

○対象・人数 成人・各回13人

○期間・回数 平成23年6月10日(金)～平成24年3月10日(土)・8回

○学習目的 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

○指導者 パソコンボランティア

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	6月10日(金)	初歩のパソコン ～インターネット活用編～	「パソコンとは…」から各機能の説明・文字入力やインターネットの基礎について学んだ。	パソコン ボランティア	11人
2	6月11日(土)	初歩のパソコン ～インターネット活用編～	「パソコンとは…」から各機能の説明・文字入力やインターネットの基礎について学んだ。	パソコン ボランティア	12人
3	9月9日(金)	エクセル入門	エクセルの基礎について学んだ。	パソコン ボランティア	11人
4	9月10日(土)	ワードの文書作成	ワードでの文書作成方法を学んだ。	パソコン ボランティア	13人
5	11月25日(金)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	パソコン ボランティア	11人
6	11月26日(土)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	パソコン ボランティア	10人
7	3月9日(金)	エクセルの簡単グラフ作成	エクセルでグラフの作成方法を学んだ。	パソコン ボランティア	10人
8	3月10日(土)	エクセルで家計簿を作ろう	エクセルで家計簿の作成方法を学んだ。	パソコン ボランティア	11人

○講座を終えて

定員を超える申込みがあり、抽選を行うほどでした。

どの受講生も熱心に取り組んでいて、活気のある講座となった。

ここで学ぶことは、基礎的なことなので、これから各自学習していてもらいたい。

パソコン自由利用

○開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

○対象・人数 成人・各回20人

○期間・回数 毎月最終日曜日 午前10時～正午/午後1時～午後3時・12回

○学習目的 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

○指導者 パソコンボランティア

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
12	毎月最終日曜日	情報活用能力の育成を行う	各自で教材を持ち込み、各で学習した。わからない所をボランティアに質問をした。	パソコン ボランティア	延べ 96人

○講座を終えて

パソコン講座で理解できなかった点や日常的な操作でわからないところを補うことができた。

また、各自の都合のよい時間帯の参加が可能であるため、パソコン講座と併せて参加することにより、パソコン操作のレベルアップの一助となることができたと思います。

地域づくり入門講座

○開設趣旨 消防署の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識の向上を図る。

○対象・人数 成人・20人

○期間・回数 平成24年3月11日(日)・1回

○学習目的 地域住民の防災意識の向上を図る。

○指導者 佐倉市八街市酒々井町消防組合 職員

○プログラム

回	月 日 (曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	3月11日(日) 9:00~正午	普通救命講習	万一の災害や事故等の際に役立つ応急手当の技法を学んだ。	佐倉市八街市酒々井町消防組合 職員	20人

○講座を終えて

万一の災害や事故等の際に役立つ応急手当の技法を学ぶことができ、参加者からは、「いざという時のために、普段からテキストで復習しておきたい」など活発な意見が出され、意識向上につながったと思う。

3-1 佐倉学講座

佐倉学入門編

郷土史講座

○開設趣旨 佐倉をテーマに学び、郷土を知る。

○対象・人数 成人・60人

○期間・回数 平成23年7月16日(土)、12月10日(土)・2回

○学習目的 佐倉の歴史に興味を持って頂き、これから地域の歴史を学ぼうとしている人の手助けとなる

○指導者 田村言行 氏、遠藤英雄 氏

○プログラム

回	月 日(曜日)	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加人数
1	7月16日(土) 10:00~正午	近代農業の あけぼの	江戸時代以降の佐倉の農業や、人と人との関わりについて学んだ。	田村言行 氏	21人
2	12月10日(土) 9:30~正午	馬渡宿場街道を 訪ねて	馬渡宿場街道を歩き、当時の様子や歴史について学んだ。	遠藤英雄 氏	20人

○講座を終えて

佐倉市の歴史入門講座として地域の歴史に興味を持って頂けるよう講座を実施しています。今年度の内容としては、江戸時代以降の佐倉の農業をテーマとして、当時の農業や、人と人との関わりについて

学びました。

参加者からは、佐倉についてもっと知りたい、近隣の市や千葉県について学びたいとの声もありました。

この講座は入門編として実施しているため、地域の歴史に興味を持って頂くことを目的とし、地域発展の歴史をわかりやすく講義してもらうよう努めています。郷土史は学ぶ内容が豊富で参加希望者も多く、講座生は熱心に話しを聞いています。歴史講座は、毎年中高年を中心に根強い人気があり、郷土の学習講座として今後も継続的に実施していく必要があると思います。

体験・ものづくり講座

○開設趣旨 根郷地区の人材を活用し、地元の食材を使用してのものづくりを通じて市民の交流との交流と地域への関心を高める。

○対象・人数 成人・20人

○期間・回数 平成23年12月9日(金)・1回

○学習目的 地域の人材を活用し、自ら学び、地域づくりにつなげる。

○指導者 あぐりライフいんば 会員

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	12月9日(金) 9:30~13:00	根郷産こんにやく芋を使って こんにやく作りに挑戦!	地元産のこんにやく芋を使って地域の方の指導によりこんにやく作りに挑戦した。	あぐりライフ いんば 会員	17人

○講座を終えて

こんにやく作りは、佐倉・城下町400年事業と位置付け、地域指導者の協力により、地元で取れたこんにやく芋を使用して行った。この講座も今年度で6回目となり、定着してきた。

根郷探訪

○開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。

○対象・人数 成人・20人

○期間・回数 平成23年4月16日(土)・1回

○学習目的 郷土の歴史・文化・自然をテーマに散策を行い、歴史の街佐倉について理解を深め、郷土愛の育成を図る。

○指導者 佐倉野草の会 近藤維久子 氏

○プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	4月16日(土) 9:30~正午	春の 野草・古木観察会	寺崎地区を散策しながら早春の野草や古木を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について関心を促した。	佐倉野草の会 近藤維久子 氏	24人

○講座を終えて。

根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、地域の自然・歴史に興味を持っていただけるよう実施して

います。

今回は、寺崎周辺を散策し、春の野草を観察しました。

参加者からは、「野草や野鳥など身近に自然と親しめる機会ができた」「今後も、講座を続けて頂きたい」などという意見もあることから、公民館では郷土史を学ぶことで地域を理解していただけるよう、講座を継続していきたいと思っています。

4. 高齢者教育事業

寿大学

○開設趣旨 現在、激しい社会変動の中で高齢化社会を向かえている。このような社会情勢の中で高齢者が充実した生活を過ごす為には、健康保持・生活文化・地域問題などについて情報収集し、学習する必要がある。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を、目指しています。

○対象・人数 60歳以上の市民・126人

○期間・回数 平成23年5月20日～平成24年3月16日・10回

○学習目的 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康保持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

○指導者 下記参照

○プログラム

回	月日(曜)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	5月20(金) 9:30～12:00	開講式	1年間の予定説明等	館長 他	115人
		オリエンテーション	班の確認・自己紹介 ・運営員の選出		
			グループ討議「自分の趣味」		
2	6月17日(金) 10:00-12:00	音楽	アコーディオン演奏と 歌声コンサート	アコーディオンサークル 風車	105人
3	7月15日(金) 10:00-12:00	生活習慣	食事と健康	栄養士 小林由喜子 氏	112人
4	9月16日(金) 8:00-17:00	社会見学 (自由参加)	館山市立博物館 南房総市 道楽園	公民館職員	88人
5	10月21日(金) 10:00-12:00	佐倉の歴史	西村勝三と靴	文化課 小暮達夫	93人
6	11月18日(金) 9:30-12:00	名画鑑賞	「二十四の瞳」	公民館職員	98人
7	12月16日(金) 10:00-12:00	趣味	植物の魅力	佐倉野草の会 近藤維久子 氏	102人

8	1月20日(金) 10:00-12:00	ボランティア	ビデオ「居るだけでボランティア」グループ討議	公民館職員	87人
9	2月17日(金) 10:00-12:00	健康	認知症サポート講習	高齢者福祉課 岩本絵己	89人
10	3月16日(金) 10:00-12:00	現代社会 閉講式	時事問題について 1年間のまとめ	NHK千葉放送局 濱西栄二氏、 館長 他	98人

○講座を終えて

寿大学は、根郷地区以外の参加者も受け入れ、高齢者の交流の場としての役割を中心とし、10回の講座を実施している。また生涯学習の観点から卒業を無くし、いつまでも学ぶ姿勢を重視している点も寿大学の特徴である。

プログラムの編成や企画なども、受講生の意見を参考にし、受講者の代表からなる寿大学運営委員会の意見を聞き、決めていくのも特徴の一つである。

この様に自主運営方法を取り入れ14年が経過し、結果が徐々に実ってきているように見える。授業の欠席者も少なくなってきたように感じるとともに、カリキュラムも健康と歴史、文化を中心に組み立てられるようになってきた。

今後も、高齢者の交流の場を保持しながら、健康を意識した寿大学の実施にさらに努めていきたい。

また、『寿だより』の発行も受講生自らが編集委員会を結成し、取材・編集をこなしパソコンを活用して発行しており、公民館としてもその活動維持に努めていきたい。

5. 団体育成事業

①根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化しています。こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成されました。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としています。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っています。

②南部地区子ども会育成会連絡協議会

近年、地区子ども会への加入が減少傾向にあるなかで、どのように運営していったら良いか、どんな運営をしたら良いかなど、地区の子ども会を支援する目的として、昭和56年に、南部地区子ども会育成会連絡協議会（南子連）が結成されました。事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会や子ども会の会長が集まり、意見を交換する、会長連絡会などを行っている。子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っている。

6. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。
- 発行回数・・・年2回（4月15日、9月15日）
- 発行部数・・・各回10,900部
- 配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

7. 図書事業

- 趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、根郷地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

- 蔵 書 数 約3千冊

- 月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	76	69	71	117	93	68	83	52	90	38	26	62	845
返却数	396	323	251	449	423	419	312	328	377	232	180	290	3,980